

お元気ですか

つかじさちの

フレッシュ便

第1048号



日本共産党高知県議会活動報告

2022年10月16日発行

電話 088-823-9524 (議会控室)

088-843-9281 (自宅)

「まんぷく EATS」

学生の暮らしと学びを支えてきた「まんぷくプロジェクト」。この夏は、命と健康を支えています。みなさんのご支援で、多くの学生に栄養セット・薬を届けることができています。本当にありがとうございます。

～学生さんからメッセージ～

誰に頼ったらいのかわからず家に食べ物もなくとても困っていたので本当に助かりました。具合がよくなったら絶対ボランティア参加して恩返しさせていただきます！ありがとうございます！

急なお願いにも関わらず、色々なものをたくさん用意して下さい。メッセージまでありがとうございます。いつかにか恩返しできればと思います。本当に助かりました。

外出できず困っていたのでとてもありがたいです！大事に頂きたいと思います。おかけ様で自宅にて安静にできております。

日本共産党の塚地佐智・高知県議は4日、県議会で一般質問に立ち、コロナ禍での学生への支援などを取り上げました。体調不良の学生の自宅まで食料を届ける日本民主青年同盟県委員会などによる「まんぷくEATS（イーツ）」の取り組みで、8月以降、コロナ感染で自宅療養する学生からの利用が急増。塚地氏は「一人暮らしの学

学生支える県政必要

高知県議会 塚地氏が求める

生が孤立し、不安で深刻な状態で過ごしていることが明らかになったと指摘し、「一人ぐらしだと看病してくれる人もいない、いつ治るかわからない」などの学生の声を紹介しました。浜田省司知事は「大変に胸が痛む」と答弁。学生による食料支援の取り組みについて「大変にありがたいし、心強い」とのべました。

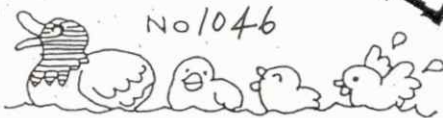
塚地氏は「ボランティア

体で学生を支えていく県政を進めること」を求めました。
(97頁 赤旗日刊紙より)



なるがも日記

No1046



10月4日に本会議での質問に立ちました。

コロナ禍、物価高で苦しい思いをしている学生や子どもたちを支えている活動に、私も当たった。学生支援、子ども食堂活動について、また、理不尽な校則の見直しについて、県の対応を求めました。誰ひとり取り残さない県政に、一歩進んでいくために、引き続き頑張ります。

右の写真は、朝倉事務所にて撮影されたもの。一部で、思わぬ涙がこぼれました。

